

平成30年第2回立科町議会定例会会議録

1. 招集年月日 平成30年6月4日(月曜)

1. 招集の場所 立科町議会議場

1. 開会 午前10時 宣告

1. 応招議員

1番 今井 英昭	2番 森澤 文王	3番 今井 清
4番 村田 桂子	5番 両角 正芳	6番 村松 浩喜
7番 榎本 真弓	8番 森本 信明	9番 土屋 春江
10番 滝沢寿美雄	11番 田中 三江	12番 西藤 努

1. 不応招議員 なし

1. 出席議員 12名

1. 欠席議員 なし

1. 地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職・氏名

町長 米村匡人	副町長 山浦智城	教育長 宮坂 晃
総務課長 長坂徳三	町民課長 斉藤明美	企画課長 竹重和明
教育次長 市川正彦	建設課長 片桐栄一	農林課長 今井一行
観光商工課長 小平春幸	会計管理者 市川清美	
庶務係長 荻原義行		

1. 本会議に職務のため出席した者の職・氏名

議会事務局長 遠山一郎	書記 伊藤百合子
-------------	----------

1. 会議録署名議員の指名

11番 田中 三江
1番 今井 英昭

散会 午前10時47分

(午前10時00分 開会)

議長（西藤 努君） おはようございます。本日から6月定例会が始まりますが、議員各位には、会期期間中、ご審議をよろしく願います。なお、夏季における軽装の取り組みにより、上着やネクタイの脱着につきましては、各自にお任せいたしますので、ご自由にお願います。

また、本日の会議において、蓼科ケーブルビジョンに議場固定カメラから、町長招集のあいさつの撮影、広報たてしなの取材撮影をそれぞれ許可してありますので、ご了承ください。

ここで、会議に入る前に、議案書の議案第39号 立科町税条例の一部を改正する条例制定についての誤謬の訂正の申し入れがあり、許可をしましたので、お手元に配付してあります正誤表のとおり訂正をお願いいたします。

定刻に達し、定足数に達しておりますので、ただいまから平成30年第2回立科町議会定例会を開会します。

これから、本日の会議を開きます。

本定例会に出席を求めた説明員は、理事者、関係課長です。

本日の議事日程は、お手元に配付したとおりです。

◎日程第1 会議録署名議員の指名

議長（西藤 努君） 日程第1 会議録署名議員の指名を議長において行います。

会議録署名議員は、会議規則第125条の規定によって、11番議員、田中三江君、1番議員、今井英昭君を指名します。

◎日程第2 会期の決定

議長（西藤 努君） 日程第2 会期の決定を議題とします。

会期については、土屋春江議会運営委員長より報告願います。土屋議会運営委員長、登壇の上、報告願います。

〈9番 土屋 春江君 登壇〉

9番（土屋春江君） 9番、土屋です。

おはようございます。それでは、会期の検討結果について、ご報告をいたします。

会期につきましては、5月21日、議会運営委員会を開催し、平成30年第2回立科町議会定例会の会期、議事日程、案件の取り扱い方法など、議会運営について検討をした結果、今定例会に提出された案件の状況から、会期は、本日から6月13日までの10日間とすることが適当との結論に達しましたので、ご報告を申し上げます。

議長（西藤 努君） お諮りします。ただいまの議会運営委員長の報告のとおり、本定例会の

会期は、本日から6月13日までの10日間としたいと思いますがご異議ありませんか。

〔（異議なし）の声あり〕

異議なしと認めます。したがって、本定例会の会期は、本日から6月13日までの10日間に決定しました。

会期日程の説明をお願いします。遠山事務局長。

議会事務局長（遠山一郎君） 本定例会の会期日程について、議会運営委員会の検討結果に基づき説明いたします。

本日は、会期の決定、町長招集のあいさつ、諸般の報告、議案の上程、提案説明を行います。

本会議終了後、全員協議会を第1委員会室で開催し、全員協議会終了後、議会だより編集委員会を開催します。

2日目、5日は午前10時に開会し、議案の質疑を行います。質疑終了後、各常任委員会に議案の付託を行います。

3日目、6日は午前10時に開会し、一般質問を行います。

4日目、7日は午前10時に開会し、前日に引き続き一般質問を行います。

5日目、8日は午前9時から社会文教建設常任委員会を開催し、付託案件の審査を行います。

6日目、9日、7日目、10日は休会です。

8日目、11日は午前9時から総務経済常任委員会を開催し、付託案件の審査を行います。

9日目、12日は委員会予備日とし、10日目、13日は午後1時30分に開会し、委員長報告、委員長報告に対する質疑、討論、議案の採決などを行い、閉会とします。

以上です。

◎日程第3 町長招集のあいさつ

議長（西藤 努君） 日程第3 町長招集のあいさつ。

米村町長、登壇の上、願います。

〈町長 米村 匡人君 登壇〉

町長（米村匡人君） おはようございます。本日、ここに、平成30年第2回立科町議会定例会を招集申し上げましたところ、議員各位におかれましては、何かとご多用なところご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

今年は春の進みが早く、桜やりんごの花が平年より10日ほど早く開花し、りんごに関しては凍霜害の不安もありましたが、特に被害もなく安堵をしているところであります。

また、蓼科の水で潤わされた水田には苗が植え並び、一面が緑に覆われ、農村の原

風景が心地よさを与えてくれます。

先月の25日、総務省は野田聖子総務大臣兼女性活躍担当大臣と女性地方議員との意見交換会が東京都内で開かれ、全国から18名の女性地方議員が参加し、長野県からは当町より土屋春江議員が出席し、女性議員の割合が高い当町議会の紹介をされました。

現在行われている国会においては、女性議員の増加を促す政治分野の男女共同参画推進法が成立しており、女性が持つ能力や知見が活かされ、女性が活動しやすい環境整備がなされ、議員の担い手が確保されることを望むものであります。

平成30年4月の内閣府発表の日本経済の現状においては、就業者数の増加、とりわけ保育の受け皿拡大等により、女性の就業者の増加に加え、若者への支援などにより、若者の失業率は4.6%と1992年以来の最低水準となるなど、雇用環境の改善や4年連続による高い賃上げが実現。最低賃金も5年連続で大幅に引き上げられ、働く人全体の所得が増加。その結果、消費も持ち直していることなどから、景気の回復が長期化しており、また、県内4月の有効求人倍率は1.69倍で、製造業を初め各産業で求人状況は高水準を維持する見通しであり、雇用情勢については一層堅調に推移していると判断されておりますが、私たちの暮らしの中では、実感がわかないというのが現状ではないかと感じております。

新たな年度も2カ月が経過をしました。平成30年度予算に基づき当年度の業務が動いております。平成25年度以降、重点指針として子育てしやすいまちづくり、定住・移住したくなるまちづくり、誰にも優しく健やかにいつまでも地域で暮らせるまちづくりを掲げ、町民の皆様が幸せを感じ、地域が活気づき、立科町で暮らすことに幸せや喜びが感じられるまちづくり。そして、愛する立科町を未来に引き継いでいくためのまちづくりに取り組んでまいりました。

子育てしやすいまちづくりでは、少子化対策、子育て支援に力強く挑戦するために、福祉医療給付事業に妊産婦の医療費助成を初め、3人目以降のお子さんの保育料無料化、町外幼稚園などに入園をしている3人目以降のお子さんの保育料などの軽減補助金制度の創出、児童クラブの一部負担金の無償化、2人目以降の保育料半額の要件をなくし、全ての2人目以降のお子さんの保育料を半額に減免。

定住・移住したくなるまちづくりでは、人口減少に歯どめをかけるべく、地域おこし協力隊員の採用により、移住・定住や産業及び地域振興、観光振興を目指した取り組みを新たな視点から推進し、立科町ふるさと交流館芦田宿に移住希望者や移住者の生活全般をワンストップでサポートをする移住サポートセンターを開設。

国の地方創生推進交付金の活用により、テレワーク事業を推進し、ICTを活用して仕事を通じた社会参加を果たす社会福祉型テレワークの実現を目指し、テレワーク事業を着実に進めてまいります。

若者世代や子育て世代が町内に移住のため住宅を新築した場合、総額100万円まで助成する制度を創設。町内で結婚をする夫婦に、中古住宅取得費や引っ越し費用など、

最大24万円を助成する結婚新生活支援補助金を創設。空き家バンク登録物件を対象に、修繕、補修、設備改善などに要する経費に対し、最大50万円を補助する空き家利用促進事業補助金を創設。立科町へ新しい人の流れをつくることを踏まえ、積極的に推進をしてまいりました。

誰にも優しく、健やかに、いつまでも地域で暮らせるまちづくりでは、住みなれた地域で、安心して暮らし続けられるよう地域共生社会の実現に向けた取り組みを進めるために、18歳以下の子供様と障害者の皆様などを対象に、通学災害共済掛金を無償化。交通災害共済掛金を無償化。住みなれた地域で高齢者や障害者の皆様がいつまでも健やかな生活が送れるよう、総合的な福祉計画を策定。

町民の皆様にご利用いただいておりますたてしなスマイル交通は、高齢化に伴う利用者の減少傾向に鑑み、地域にとって望ましい公共交通網の姿を明らかにする公共交通網形成計画の策定。また、福祉型デマンドタクシーの利用対象者に、介護保険の要介護、要支援認定者、または事業対象者の方と運転免許証返納者の方を新たに加え、利用対象要件を広げ、地域の足の確保向上に努めてまいります。

以上の3つの重点指針によるそれぞれの施策については、町民の皆様から評価をいただいております。成果については施策により違いはあるものの、引き続き進めることで、成果に結びつけることができると考えております。

なお、国は、幼児教育、保育の無償化を2019年10月から、全面実施する方向で調整に入るとの方針が示されました。国の施策に先行して独自の取り組みを行っている当立科町では、教育にかかわる経済的な負担軽減につながる新たな町独自の子育て支援も考えられると感じております。

さて、本定例会にご提案をいたします案件につきましては、条例の一部改正1件、平成30年度立科町一般会計並びに索道事業特別会計の補正予算2件、合わせて3件でございます。

条例の改正では、立科町町税条例を生産性向上特別措置法の施行に合わせ、中小企業の設備投資促進に向けて、町の計画に基づき中小事業者が実施した設備投資について、固定資産税を3年間ゼロとする条例の一部を改正するものであります。

平成30年度一般会計補正予算（第1号）については、1,989万7,000円増額し、総額44億6,989万7,000円にするものです。人事異動に伴う人件費の補正外、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けたウガンダ共和国とのホストタウン事業を推進する事業負担金を計上をしました。

子供たちや町民とオリンピック選手との交流などを計画し、世界を感じ、国際感覚を磨き、夢を語る人材の育成とともに、白樺高原を陸上競技のトレーニング適地として内外に発信し、多くのランナーに訪れていただき、白樺高原の振興にもつなげてまいりたいと考えております。

コミュニティ助成事業に補助金申請をしていました日中部落と赤沢実行班の除雪機

の整備について、県などから交付決定があり、予算計上もいたしました。また、道の駅女神の里たでしなに補助金を受け、E V自動車用急速充電設備を整備する事業費を計上いたしました。

新たな道の駅には、国土交通省よりE V充電機の設置が必要であるとの要請と同時に、登録時においても設置することが条件となっております。地球温暖化対策と石油の枯渇という二つの社会問題に、国としても次世代自動車の普及を進めており、環境に配慮している町として、また、道の駅のにぎわいになる施設として設置を計画いたしました。

教育費では、新たにオレゴン市からA L Tを受け入れる予定であります。2名のA L T体制により、一層の英語教育の充実を図ってまいります。

ほか、索道事業特別会計補正予算は、人事異動に伴う人件費の補正を行うものであります。

それぞれの詳細につきましては、関係課長から提案の説明を申し上げますので、よろしく願いをいたします。

以上、本定例会に提出いたします案件につきまして、その概要を申し上げます。これらの案件につきまして、ご審議をいただきますとともに、ご承認賜りますようお願いを申し上げます。

最後に、多くの長野県民に愛され、歌われてきた信濃の国は、県歌に制定されて今年で50年の節目の年を迎えます。長い年月を経て親から子、子から孫という中で歌い継がれてきたものと理解をしております。これからも末永く歌い継がれていくことを願ってやみません。

まちづくりにも同様のことが言えると感じております。先人が守り、育んできた立科町らしさと地域資源の活用により、次の世代に確実につなげていくことが大切なことであることを改めて感じております。

次の世代に誇れるまちづくりを進めていく上で、町民皆様、また議員各位のご理解とご支援をお願い申し上げます。6月定例会招集の挨拶とさせていただきます。

よろしく願いをいたします。

続いて、3月定例会以降につきましてはの主な町長諸般の報告をいたします。

3月15日には卒業生67名の中学校卒業式に、17日には卒業生58名の小学校卒業式に、23日には卒園生41名の保育園卒園式に出席し、お祝いの言葉を申し上げます。

20日には、長野県土地改良区連合通常総会、並びに創立60周年記念式典に出席をし、22日午前は、農業振興推進会議に、午後は北佐久行政連絡協議会に出席し、今年度から軽井沢町藤巻町長が会長となりました。

佐久広域連合で建設をしていた特別養護老人ホームうすだコスモ苑が26日に、特養こうみの里が28日に、それぞれ竣工式が行われ、参加をいたしました。

26日には、新クリーンセンターの本体工事の起工式が行われ、安全に工事が進むこ

とを祈念してまいりました。また、同日午後、佐久広域連合第1回の定例会が開催され、平成30年度予算が議決されました。

29日には、町監査委員さんより定期監査報告書をいただき、職員に周知し、業務推進の検討を指示し、午後は、芦田財産区議会定例会に出席し、平成30年度予算などの決定をいただきました。

4月2日には、新規採用3名及び異動職員への辞令交付を行い、新年度をスタートいたしました。

消防団幹部、新入団員任命式に出席し、本年度より立科町消防団長に永原幹夫氏を任命し、地域の安全・安心を守る消防団の皆さんに感謝と激励の訓示をいたしました。

3日には保育園に44名、5日には小学校に44名、中学校に54名の新生を迎え、6日には蓼科高校でそれぞれの入学式が行われ、希望に輝く子供たちにお祝いの言葉を申し上げました。

18日には、ウガンダ共和国大使館を訪問し、東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンの取り組みについて、ベティー特命全権大使と意見交換をしてまいりました。

24日には、町村会政務調査会合同部会に出席をし、平成30年度政務調査活動及び各県担当部長より本年度の施策、事業についての説明があり、同日夜、町交通安全協会の総会に出席し、日ごろからの交通安全活動に感謝を申し上げました。

25日には、観光連盟を総会の後、蓼科白樺高原観光協会の総会が開催され、懸案であった観光協会の統合に向けて、方向性が確認をされました。

26日には、水神祭が行われ、蓼科山からの恵みに感謝し、水道水の安定供給を参加者とともに祈念してまいりました。

27日には、農業者年金推進協議会総会に出席をし、28日には、中部横断自動車道が八千穂高原インターまで完成をし、開通式が行われました。早期の全線開通されることを大いに期待をしております。

5月8日には、午前、議会全員協議会に出席をし、午後は川西防犯女性部の総会に出席し、日ごろの活動に感謝を申し上げました。

11日には、日本サッカー協会JFAこころのプロジェクト推進室に訪問し、今月行われる立科小・中学校で行われる夢教室についてと今後の活動について伺い、その後、独立行政法人国際協力機構JICAへホストタウンについて、帰国隊員の協力依頼と活動について、内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局の皆さんとともに同席の中、協議をしてまいりました。

15日には、白樺湖活性化協議会に出席し、今後の白樺高原一体の観光振興について報告を受けました。

22日には、第22回町長杯争奪ゲートボール大会を開催し、元気に参加された皆様とともに競技を行い、親睦を深めることができました。午後、消防委員会に出席をして

おります。

23日には、県道牛鹿望月線整備促進期成同盟会の総会に、24日は芦田財産区運営協議会及び諏訪湖流域下水道促進協議会定例会に、25日は佐久広域食肉公社定時総会に出席した後、立科町有害鳥獣駆除対策協議会を開催をしております。

27日には、寥北中学生バレーボール大会が行われ、選手を激励した後に、白樺グリーン完成記念大会、白樺湖駅伝大会に挨拶に伺いました。

28日には、白樺高原防犯組合総会に出席をし、日ごろの取り組みに感謝を申し上げました。

31日には、関東道の駅連絡会総会が佐久市で開催され、今年度より、道の駅女神の里たてしなも協議会に参加をいたしました。

6月2日には、第26回佐久地区障害者スポーツ大会で応援をしてみいました。全力で取り組む選手から勇気と元気をもらうことができました。

3日には、夏山開き、すずらん祭りに出席し、今シーズンの安全とにぎわいを関係者皆様とともに祈念をしてみいました。

以上で、諸般の報告といたします。

◎日程第4 議会諸報告

議長（西藤 努君） 日程第4 議会諸報告を行います。

議長としての報告事項は、印刷してお手元に配付してるとおりであります。

次に、森本信明総務経済常任委員長、報告ありますか。

8番（森本信明君） 総務経済委員会、報告はありません。

議長（西藤 努君） 次に、榎本真弓社会文教建設常任委員長、報告ありますか。

7番（榎本真弓君） 社会文教建設常任委員会、報告はありません。

議長（西藤 努君） これで、議会諸報告を終わります。

◎日程第5 議案第39号

議長（西藤 努君） 日程第5 議案第39号 立科町税条例の一部を改正する条例制定についてを議題とします。

本案について、提案理由の説明を求めます。長坂総務課長、登壇の上、願います。

〈総務課長 長坂 徳三君 登壇〉

総務課長（長坂徳三君） 議案第39号 立科町税条例の一部を改正する条例制定について、提案理由の説明を申し上げます。

地方税法等の一部を改正する法律の公布により、地域の小中企業による設備投資の促進に向け、生産性向上特別措置法の規定により、市町村が主体的に作成した計画に基づき行われた、中小企業の一定の設備投資に係る固定資産税を2分の1からゼロま

で軽減することを可能とする特例措置、いわゆる我が町特例による改正でございます。

1 ページをお願いいたします。

附則第10条の2において、生産性向上特例措置法の規定による、中小企業の一定の設備投資に係る固定資産税の課税標準に乗ずる割合をゼロにいたします。

この割合をゼロにすることにより、町内の事業者は先端設備の導入補助金などを優先的に受けることができるようになり、町内企業の労働生産性の向上や活性化に期待をしております。

なお、法律の施行日が6月6日となる情報が入り、附則による施行日が議決前の施行日となる恐れがあることから、本日、正誤表により公布の日からと訂正をさせていただきました。

以上ご説明申し上げましたが、審議の上、議決いただきますようお願い申し上げます。

◎日程第6 議案第40号

議長（西藤 努君） 日程第6 議案第40号 平成30年度立科町一般会計補正予算（第1号）についてを議題とします。

本案について、提案理由の説明を求めます。長坂総務課長、登壇の上、願います。

〈総務課長 長坂 徳三君 登壇〉

総務課長（長坂徳三君） 議案第40号 平成30年度立科町一般会計補正予算（第1号）について、提案理由の説明を申し上げます。

歳入歳出予算の補正は、総額に歳入歳出それぞれ1,989万7,000円を追加し、予算の総額を44億6,989万7,000円とするものでございます。

5 ページをお願いしたいと思います。

5 ページは、歳入歳出予算事項別明細書総括表となっております。6 ページからは歳入となります。

15款県支出金2項4目農林水産業費県補助金では、農業委員会補助金33万9,000円を計上し、19款繰入金を1,000万円増額し、7,000万円といたしました。

20款諸収入4項雑入では、職員給与費負担金は派遣職員の総合事務組合負担金分75万7,000円。コミュニティ助成事業補助金は、3件の交付決定に伴う補正でございます。6節観光費雑入は、電気自動車プラグインハイブリッド自動車の充電インフラ整備事業費補助金500万円を計上いたしました。

7 ページから歳出になりますが、関係する全ての款において、昇給、人事異動及び職員共済費負担金率変更に伴う人件費の補正をしております。

2款総務費1項総務管理費1目一般管理経費では、第三者委員会に要する委員報酬及び弁護士委託料の費用見込みを計上いたしました。5目企画費まちづくり事業経費

では、2020年東京オリンピック・パラリンピックに出場するウガンダ共和国陸上競技、中・長距離種目の事前合宿受け入れ、町民との交流及びホストタウンを契機とした国際交流を推進するための組織として、立科町国際交流推進協議会を設立し、その事業負担金として900万円を計上いたしました。

また、ホストタウン事業を推進する地域おこし協力隊員として、青年海外協力隊経験者1名の採用を計画し、経費を計上しております。

補助金310万円は、コミュニティ助成事業補助金の交付決定に伴い、2集落への補助金を計上しております。

9ページをお願いいたします。

2項町税費、3項戸籍住民基本台帳費は、人事異動等に伴う補正でございます。

10ページ、7項コミュニティ費権現の湯事業経費では、大規模改修等検討委員会において、経営のあり方などを検討するために、開催回数を増やすことによる謝礼金の補正でございます。

ふるさと交流館管理経費では、移住担当の地域おこし協力隊1名の退任により、移住サポートセンターの運営職員として臨時職員1名の雇用を計上いたしました。

3款民生費1項1目老人福祉センター管理経費では、センター南にある遊具が老朽化により使用できない状況にあるため、小規模修繕で使用可能なものは修繕し、使用できないものは危険なため撤去するための経費を計上しております。

11ページ、2目障害者支援事業経費は、障害者自立支援制度の改正に伴うシステム経費改修経費を計上いたしました。2項児童福祉費、12ページ、3項高齢者福祉費、次ページの4款衛生費までは、人事異動等による補正となっております。

14ページをお願いいたします。

5款1項農業費は、県からの農業委員会補助金を受けることに伴う臨時職員の科目替えでございます。2項林業費では、佐久森林認証協議会の負担金が増額になる見込みのための補正であります。

15ページ、6款商工費2項1目観光施設管理経費では、道の駅女神の里たてしなに次世代自動車充電設備を整備するための経費910万7,000円を計上しました。

16ページ、7款土木費は、人事異動等に伴う補正であります。

17ページ、8款消防費1項1目非常備消防費では、北佐久消防協会ポンプ操法ラップ吹奏大会の機材運搬用としていた町のトラックが、粗大ごみの収集日と重なったことにより使用できなくなったため、2台のトラックのリース経費を計上し、3目消防施設費では、古町分団警鐘楼屋根の修繕費を補正いたしました。

9款教育費1項2目事務局費では、オレゴン市からのALT受け入れに要する経費85万1,000円を計上し、18ページ、2項小学校費は人事異動等に伴う補正であり、19ページ、3項中学校費1目学校管理費の臨時職員賃金は、ALTの賃金を計上しました。

12款予備費は、歳入歳出との差額を調整しております。

20ページから24ページは、給与関係の資料であり、人事異動、職員採用により補正し、集計及び企画等でございます。

以上、説明申し上げましたが、ご審議の上、議決賜りますようよろしくお願い申し上げます。

◎日程第7 議案第41号

議長（西藤 努君） 日程第7 議案第41号 平成30年度立科町索道事業特別会計補正予算（第1号）についてを議題とします。

本案について、提案理由の説明を求めます。小平観光商工課長、登壇の上、願います。

〈観光商工課長 小平 春幸君 登壇〉

観光商工課長（小平春幸君） 議案第41号 平成30年度立科町索道事業特別会計補正予算（第1号）について、提案理由のご説明を申し上げます。

1ページをご覧ください。

平成30年度立科町索道事業特別会計補正予算（第1号）は、収益的支出の予定額を次のとおり補正するものであります。

第51款索道事業費用の予算額は増減なく4億3,639万1,000円であります。第1項営業費用を306万4,000円減額し、同額を第3項予備費で調整させていただきます。

第3条、議会の議決を得なければ流用することのできない経費、予算第6条中（1）職員給給与費3,579万円を3,072万1,000円に改めるものであります。

2ページをお開きください。

支出51款索道事業費用の総額に増減はありません。第1項営業費用の第1目リフト営業費用を306万4,000円減額し、1億7,198万8,000円に改めるものであります。

1節給料、2節手当、3節賞与引当金等繰入額、4節法定福利費、5節退職組合負担金をいずれも減額し、臨時職員賃金を250万円増額するものであります。これは、任期付職員1名の任期満了に伴い、任期付職員から臨時職員としての雇用形態を変更したことによるものであります。

第3項予備費は、第1項営業費用の減額分306万4,000円を調整し、854万2,000円といたしました。

3ページをお開きください。

平成30年度索道事業予定キャッシュフロー計算書、税抜きであります。

4ページから5ページは給与費明細書です。

説明は以上であります。よろしくご審議の上、お認めいただきますようお願い申し上げます。

◎日程第8 陳情第1号～日程第9 陳情第2号

議長（西藤 努君） 日程第8 陳情第1号 義務教育国庫負担制度の堅持を求める陳情書及び日程第9 陳情第2号 国の責任による35人学級推進と教育予算の増額を求める陳情書の2件は、5月17日までに受付をいたしました。

こちらにつきましては、上程をいたしました。ご意見お持ちの方は質疑の際にお願いいたします。

なお、審査については、質疑終了後、所管委員会に付託する予定であります。

以上で、本日の日程は全部終了しました。

本日は、これで散会とします。ご苦労さまでした。

なお、この後11時より全員協議会を開催しますので、議員、理事者、説明員は第1委員会室にお集まりください。

全員協議会終了後は、議会だより編集委員会が開催されますので、委員は参集願います。ご苦労さまでした。

（午前10時47分 散会）